

ソフトテニス 棚倉を拠点に

育成強化、ハードコート整備

日本ソフトテニス連盟(東京都)は、ソフトテニス振興や強化選手育成を目的に棚倉町のルネサンス棚倉を拠点施設に選んだ。18日、同施設で基本協定締結式が行われ同連盟の安道光二会長と同施設の社長を務める湯座一平町長が協定書を取り交わした。同連盟が自治体と協定を結ぶのは全国で初めて。

国内では人工芝のテニスコートが主流だが、アジアを中心としたソフトテニスの世界大会で



協定書を取り交わした
湯座町長(左)と安道会長

町が日本連盟と協定

はハードコートが主流。ルネサンス棚倉にはアスファルトのハードコートが12面あることなどから、拠点施設に選ばれた。

ルネサンス棚倉のハードコートは東日本大震災の影響で亀裂が生じるなどの被害があり、現在は使われていない。整備は早ければ来年4月から着手し、8月ごろの利用開始を目指す。費用は同連盟が負担する。同連盟は今後、日本代表を選出する予選会や合宿所、全日本大会などの開催を町で行う方針。

締結式で湯座町長は「全国のトッププレイヤーが棚倉に集まることは子どもたちにも刺激となる。大会開催を通して交流人口の拡大につなげていきたい」、安道会長は「施設利用を通じて町の活性化や健康増進に寄与したい」と述べた。

2019.12.19

福 島 民 報

20

ルネサンス棚倉を強化拠点に

日本ソフトテニス連盟 国内初、来夏完成へ

町と協定



協定書を取り交わす安道会長（右）と湯座町長

棚倉町のスポーツ・リゾート施設ルネサンス棚倉に日本ソフトテニス連盟の選手強化拠点施設としてハードコート十二面が整備される。国内初の強化拠点協定締結式が同施設で

となり、二〇二〇（令和二年）八月に完成の予定だ。

十八日、ルネサンス棚倉に出資している棚倉町と、同連盟の基本協定締結式が同施設で行われた。

同連盟が来年四月ごろから既存のテニスコートの改修工事を始める。完成後は日本代表選手らトップ選手の強化拠点になるほか、国際大会予選や全日本大会の会場となる予定。一般への貸し出しも想定している。

設があり、首都圏から近いことが選定の決め手になったという。二同連盟会長とルネサンス棚倉社長を務める湯座一平棚倉町長が協定書を取り交わした。安道会長が「町の活性化や住民の健康増進にも寄与していきたい」とあいさつした。



幸せを願い、作業組む成田さん

込めて活動に精進

八十代が中心の地元の集会所で、つばいかけて作業の工程も多く、たばかりの十年

幸せ願い、しめ縄作り

喜多方市高郷町の老人クラブ「吹萩福寿会」で会長を務める成田辰平さん（七十九）は、かじかんた手

師走

ひと模様

に全神経を集中させ丹念にしめ縄を編み込む。十た。次第に上達する。五年目となった同会の正月飾り製作は、十二月に入って最盛期を迎えている。「飾りが届くそれまでの家庭で良い年を迎えられるように」と願いを込めて編む。休憩時間には掛たリンゴやふか

(公財) 日本ソフトテニス連盟による強化等
拠点施設整備に伴う基本協定締結式次第

日時 令和元年12月18日(水)
午前10時

場所 ルネサンス棚倉

司会 棚倉町産業振興課長

1 開 会

2 出席者紹介

3 調 印

4 あいさつ

棚 倉 町 長

湯 座 一 平

公益財団法人

日本ソフトテニス連盟 会 長 安 道 光 二 様

5 来賓祝辞

福島県県南地方振興局 局 長 安 達 豪 希 様

棚 倉 町 議 会 議 長 松 本 英 一 様

6 整備概要

公益財団法人

日本ソフトテニス連盟 専務理事 野 際 照 章 様

7 記念撮影

8 閉 会

協定締結式出席者簿

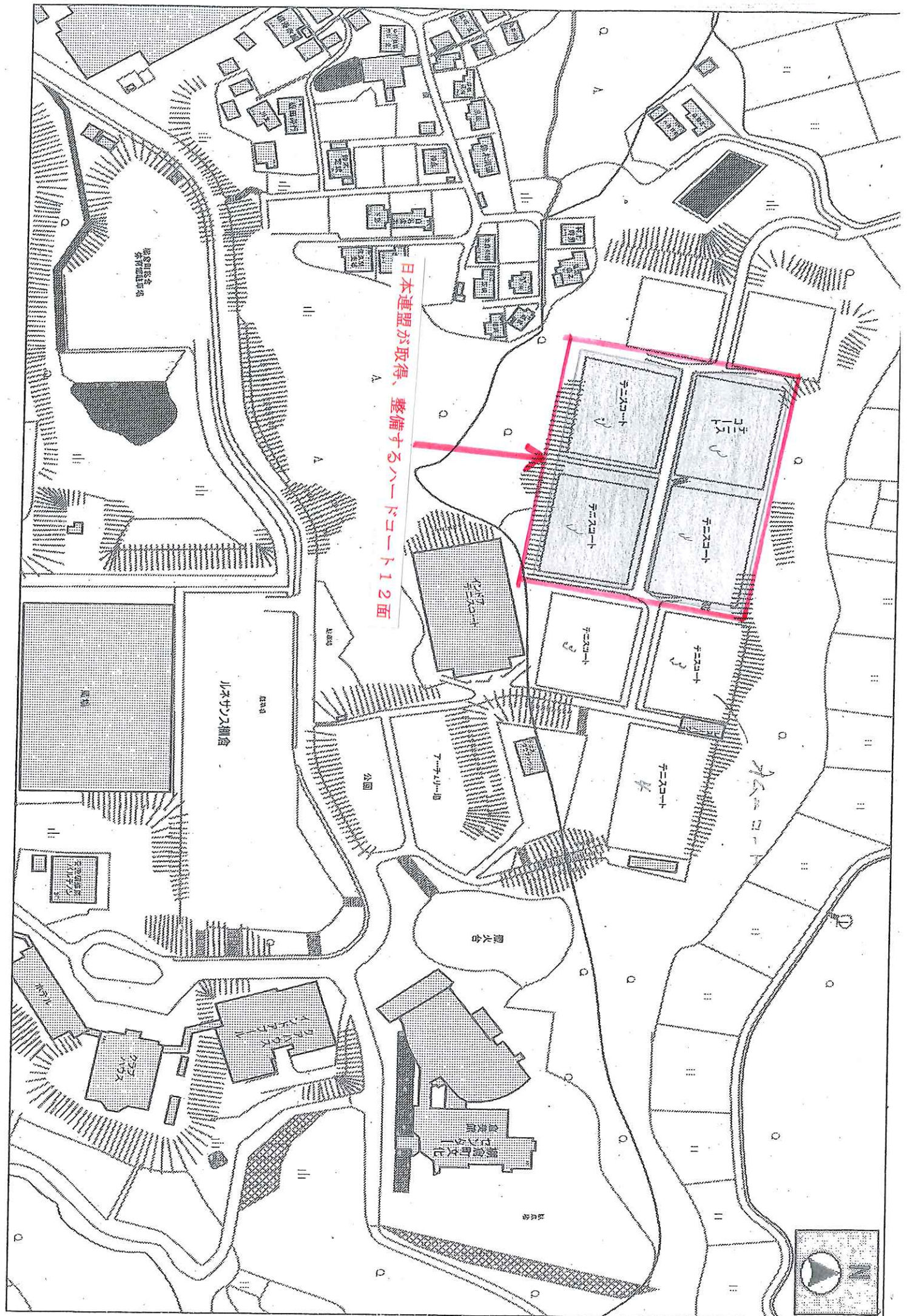
	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	県南地方振興局	次 長	朽木 栄作	
2	棚倉町議会	議 長	松本 英一	
3	(公財)日本ソフトテニス連盟	会 長	安道 光二	
4	(公財)日本ソフトテニス連盟	専務理事	野際 照章	
5	福島県ソフトテニス連盟	会 長	志田 光夫	
6	福島県ソフトテニス連盟	副会長	川 島 登	(公財)日本ソフトテニス連盟 理事
7	棚 倉 町	町 長	湯座 一平	(株)ルネサンス棚倉 代表取締役
8	棚 倉 町	副町長	鈴木 敏光	(株)ルネサンス棚倉 取締役
9	棚 倉 町	教育長	松本 市郎	
10	棚 倉 町	総務課長	緑川 喜秋	
11	棚 倉 町	産業振興課長	川瀬 浩二	
12	棚 倉 町	産業振興課商工係長	八槻 博行	
13	(株)ルネサンス棚倉	支配人	森田 和春	
14	(株)ルネサンス棚倉	第2営業課長	中野目 和也	

「公益財団法人 日本ソフトテニス連盟」強化等拠点施設整備概要

土地の所在	福島県東白川郡棚倉町大字仁公儀字ソナ地地内(ルネサンス棚倉地内) ※別紙位置図のとおり
整備主体	公益財団法人 日本ソフトテニス連盟 会長 安道光二 東京都品川区大井 1-16-2-201
利用目的	ソフトテニスの振興と選手強化の拠点施設としてテニスコートを整備する。
整備内容	ハードコート12面
今後の予定	4月～7月頃 改修工事 8月頃 利用開始
利用予定	・U-14・U-17・U-20・ナショナルチーム・日本代表の合宿 や国際大会予選や全日本大会を予定している。

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟 概要

法人概要	ソフトテニス競技の統一組織として、国内競技大会を主催・運営し、国際大会への代表選手を選出・派遣するとともに、ソフトテニスの普及振興を図っている。
会員数	中高生を中心に約42万人
主催大会	天皇賜杯・皇后賜杯、全日本実業団ソフトテニス選手権大会 全日本社会人ソフトテニス選手権大会、日本リーグ、 全日本中学生ソフトテニス大会、 全日本高等学校選抜ソフトテニス大会など



日本連盟が取得、整備するハーコート12面

坂本町立
赤羽小学校

小サウス側倉

御火舎

ハーコート

コート

コート

コート

コート

コート

コート

コート

コート

コート

コート

コート

コート

コート

コート